

第26回ジュニアヨット国際親善東京レガッタ (ミキハウスカップ東京2016) 東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所で開催

第26回を迎えるジュニアヨット国際親善東京レガッタが、東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所において9月4日に開催されました。

雨交じりの蒸し暑い天気でしたが、首都圏を中心にOP級上級者(22艇)、OP級初級者(30艇)、レーザー4.7(8艇)の3クラスのジュニアセーラーたちが集まりました。また恒例の体験試乗会には、都内のインターナショナルスクールから17名の生徒と保護者が参加し、国際交流の輪を広げていました。

今にも降り出しそうな生憎の天気の中、午前8時30分から開会式が行われました。式ではOP級上級者昨年優勝の青山知央さん(葉山町セーリング協会)、OP級初級者昨年優勝の重松陽さん(夢の島ヨットクラブ)から、ミキハウスカップが返還され、代わりに佐藤精知夫副会長からレプリカが贈呈されました。

開会式終了後のスキッパーズミーティングでは、変わりやすい天気そして潮と川の流の影響を受けやすい海面の特徴そしてレース運営についての注意事項などが説明されました。



OP級初級者昨年優勝の重松陽さん(夢の島ヨットクラブ)にレプリカの贈呈



B海面のスキッパーズミーティング



ギグでセーリングを楽しむ
体験試乗会参加者の皆さん

出廷許可が下りる頃には一時的に雨が降るなど不安定な空模様でしたが、その後は徐々に回復し午後からは暑い夏の陽も射してきました。

天候の変化にともない風向も大きくシフトするなか、この海面特有の潮と川の流れの影響もありレース運営は大変でしたが、A海面のOP級上級者は3レース、レーザー4.7は2レース、B海面のOP級初級者は予選と決勝それぞれ3レースを無事終了することができました。



レーザー4.7レース風景



OP級上級者レース風景



OP級初級者のレースはポンド内で行われ、陸上のギャラリーからは熱い声援が飛び交っていました

閉会式は午後5時から行われ、初めに高橋祐司レース委員長からクラス別の入賞者とクラブ対抗レースの入賞者が発表されました。入賞者には賞状やメダルに加え、特別協賛の株式会社ミキハウス様からOP級上級者優勝にブレザーが贈られた他にカップや数々の賞品が手渡されました。

成績発表に続いて、ミキハウス 執行役員社長室長の光川彰夫様から「これからもミキハウスはこの大会を応援していきます」との心強いご挨拶、そしてレガッタ副会長の佐藤精知夫JJYU会長代行が挨拶を行い大会を締めくくりました。



OP級初級者優勝の青山 若生さん
(葉山町セーリング協会)と上位入賞者



OP級上級者優勝の渡辺 信幸君
(江東区立小中学校セーリング部)と上位入賞者



レーザ4.7優勝の三浦 帆香さん
(千葉ヨットビルダーズクラブジュニア)と上位入賞者



ジュニアヨットクラブ対抗レース優勝の
江東区立小中学校セーリング部



高橋祐司レース委員長



ミキハウス 執行役員社長室長
光川彰夫様



佐藤精知夫レガッタ副会長

